

# 実績報告

## 事務部

- ・総務課
- ・医事課
- ・施設管理室





## 事務部

### 事務部基本理念

「目くばり、気くばり、和の心」

### 概要

事務部は本年度、当初3名の新採用職員を含む事務員16名と施設管理員5名の21名（うち、事務員1名、施設管理員1名は高齢者雇用）の体制で迎えた。配置の内訳は管理部門に事務員1名（部長）、総務課に事務員7名（うち1名は医局常駐）、医事課に事務員8名、施設管理室に施設管理員5名である。

なお、事務員については7月末医事課、9月末総務課にそれぞれ1名の任意退職があった。

そのような中、本年度の法人の一大プロジェクトである、南浜病院の電子カルテの新規導入、医事会計システム、オーダリングシステムの更新に向け、事務部としての対応をしてきた。7月の稼働開始に向け、前年度末からベンダーである日本事務器株式会社の支援を受けながら6月までは様々な準備、綿密な調整を行い、7月に予定通りに始動することができた。以降各システムは今日に至るまで概ね順調に稼働を続けており、適正な医療の提供に寄与している。

### その他、本年度の主な処理事項

- 7月15日 島見浜海岸清掃参加
- 9月1日 市内病院対抗球技大会運営、排球担当
- 9月21日 鈴木会長お疲れさま会開催
- 9月29日 2013南浜病院祭開催

毎年海の日に行われる「島見浜海岸清掃」への参加は法人の地域貢献活動の一環として行われるもので、早朝にもかかわらず多数の職員及びその家族の参加（計75名）があった。また、その後引き続き行われる南浜病院美化運動は悪天候のため中止となったが、例年は病院周辺の清掃を行い来院者に対する接遇の一助としている。

毎年8月の最終日曜日に開催される「市内病院対抗球技大会」では、新潟医療センターと協力し、企画・運営を行った。例年男子の野球と女子の排球は同日に開催されていたが、本年度は会場の都合により、野球と排球は別日開催であった。当院は大会委員長病院として排球の大会運営を行った。

「鈴木会長お疲れさま会」は、南浜病院開設以来、永年に渡り病院の発展と恵生会の運営に寄与した鈴木会長の労を労うものとしてホテルイタリア軒で（参加139名）盛大に挙行された。

その他、病院祭については実行委員会に、また、親和会の行事についても各担当役員に対し事務部として全面的に協力し、円滑な運営に貢献することができた。

### 方針

今までも、また、これからも、法人の基本理念の下、事務部は病院運営の縁の下の力持ちとして、理事長、病院長ら経営陣の示す法人あるいは病院等の運営方針に従うとともに、これを全員で補佐する。そして、法人・病院の安定経営のために、各種規程を順守し適正な会計管理、労務管理、資産物品管理および情報管理を徹底していきたい。

また、事務部理念を鋭意実践し、法人・病院の各部署間あるいは個々の職員間の潤滑油となり、円滑で健全な法人・病院運営に寄与していく。

文責 小出 春彦

## 【職員数】

5名

## 【業務内容】

### 1. 人事労務管理業務

#### (1) 職員の採用・手続き

人的資源が確保できるよう職員の募集・採用を行っている。入職後は雇用契約や労働者名簿の作成、社会保険の手続きに加え、健診業務も行っている。

#### (2) 賃金及び労働条件の管理

### 2. 給与・経理業務

#### (1) 賃金管理

給与・賞与の算定と支給

#### (2) 財務業務

病院会計準則に沿った金銭の調達、支払、残高の管理および帳簿への記載

#### (3) 決算業務

月次・年度の決算業務 次年度の予算立案

### 3. 庶務業務

#### (1) 物品購入

物品購入やリース契約に関する業務交渉

#### (2) 備品・消耗品の管理

備品・消耗品などの発注・払出し業務及び購入物品の修理

#### (3) 監査事務

官公庁による立入検査や実地指導の準備、対応（保育園監査含む）

### 4. その他

#### (1) 設備・防災関係

施設管理と協力した設備の点検業務（修理・改修・交換）及び消防訓練、避難訓練の実施

#### (2) 法人行事の運営

入職式や海岸清掃・美化活動等、法人行事（職員互助会「親和会」企画含む）の運営

#### (3) 各種調査、資料作成

年報の作成、国・地方自治体、職能団体などへの各種調査協力

#### (4) 渉外業務

地域貢献活動の連絡・対応

## 【今後の展望】

総務課の業務は幅が広く、病院運営や職員生活に直結し、間違いが許されない業務が多い。再度あり方や流れを検証し、より効率的で正確な業務ができるよう実行していく。また、総務課はすべての部署と関わりを持つ部署であり、事務部理念「目くばり・気くばり・和のこころ」を基に働きやすい職場の実現に向け努力していく。

収支を司る部署として法人の健全経営のために経営方針に従い財務状況を把握し改善していきたい。

文責 相馬 祐一

**【実績】**

月	法人・親和会行事	総務課業務
平成25年 4月	入職式、親和会総会	決算業務 入職者の労務手続き
5月	定時社員総会	決算確定申告（税務署） 労働保険申告（労働局）
6月	親和会主催「ボウリング大会」	決算報告（県）、財務報告（法務局）
7月	平成26年度採用就職説明会 島見浜海岸清掃	賞与支払届、算定基礎届提出（日本年金機構）
8月	新潟まつり大民謡流し 職員採用試験 市内病院対抗球技大会（野球）	
9月	市内病院対抗球技大会（排球） 会長お疲れ様会 病院祭	市内病院対抗球技大会事務局
10月	職員旅行	麻薬管理者届出（新潟市保健所）
11月		年末調整準備、説明会
12月	忘年会	賞与支払届提出（日本年金機構） 有期雇用職員次年度雇用説明
平成26年 1月		支払調書提出（税務署） 給与支払報告書（各市町村） 償却資産税申告（新潟市）
2月		次年度予算書作成 確定企業年金決算報告書提出（関東信越厚生局）
3月		決算処理

## 【職員数】

7名

## 【業務内容】

医事課は、以下の業務を中心に来院される方々と職員をつなぐ「医療事務」を行う部署である。当院の医療事務は患者登録、診療券作成、診療内容を算定し診療費を請求する「外来医事業務」、入退院の手続き、診療費の算定・請求をする「入院医事業務」、診療報酬明細書を作成し、保険者へ請求する「保険請求業務」、保険請求事務で得られるデータを集計する「医事統計業務」、その他カルテ等管理する「診療情報管理業務」があり、事務部の理念である「目くばり・気くばり・和の心」を基に担当制で行っている。

## 【今後の展望】

医師・看護師などと連携・協働しながら、チーム医療の一員として患者・家族にホスピタリティある対応で関わっていく。また、正確且つ適切な診療報酬を算定し、病院の健全な経営に貢献できるよう研鑽を積んでいく。

文責 川島 博幸

**【職員数】**

5名

**【業務内容】**

次年度防災訓練計画を立案し、各種訓練を行っている。新規採用職員には救助袋・消火器・消火栓の訓練及び消防設備取扱いの説明を、全職員には夜間・休日緊急連絡訓練、夜勤・日勤体制での火災・地震避難訓練を年間2回行っている。

また、施設面では作業工程表を作成、関連業者と機械設備（エアコン・エレベーター・消防設備・その他）のメンテナンス・修理などを効率よく進めている。

**【今後の展望】**

築年数が進むにつれ、消耗品の早期取替えやメンテナンスが必要になる。利用者の安全を十分に配慮した設備管理を徹底したい。その他、消防・避難訓練のスキルアップに努める。

文責 中林 裕孝

# 実績報告

## 福祉事業所

- ・ 障がい福祉サービス事業所 いなほ園
- ・ 福祉ホーム あさひ荘

## 診療所

- ・ とよさかクリニック



## 【種 別】

自立訓練（生活訓練）・宿泊型自立訓練・短期入所

## 【定 員】

自立訓練（生活訓練）20名・宿泊型自立訓練18名・短期入所2名

## 【職員数】

9名（施設長1名 サービス管理責任者1名 生活支援員6名 顧問医1名）

## 【業務内容】

「あなたの思いを応援します」をキャッチフレーズに、以下のサービスを提供している。

（ア）個別支援計画の作成 （イ）食事や家事等日常生活能力の維持、向上等のために必要な支援 （ウ）日常生活上の相談支援 （エ）関係サービス機関との連絡調整等の支援 （オ）食事提供（希望者に限る） （カ）前各号に掲げるものの他、利用者に必要な支援

支援プログラムの基本方針としては、「利用者が楽しみながら生活力を維持向上でき、自信をつけることができる」をスタッフの共通理解とし、以下のような構成で実施している。

カテゴリ	目 的	主なプログラム名
教育/自己対処	自らの心身の状態を理解し、正しく対処できることを目指す。	健康講座・心理教育・スポーツ・リラクゼーションなど。
コミュニケーション	対人交流の自信をつける。仲間をつくる。	おもてなし講座・マナー講座・ルールで遊ぼう・外出など。
個別支援	生活を楽しみ、やりがいを持つ。日常生活スキルの維持向上。	体験しよう・生活術・創作・カラオケ・調理実習・レンジ活用法・就労体験など。

## 【今後の展望】

個別支援計画に基づき、標準利用期間内（2年）での目標達成を職員一丸となって支援・応援していく。その過程でこれまで以上に、地域の関係機関・団体等との連携も深めていきたい。

また、これまでの実践のなかで専門職だけによるサービス計画の限界も感じてきた。今後はピアサポートの土壌作りから始めることも具体的に検討していく。

文 責 布川征一郎

## 【実 績】

平成25年度利用相談件数

	いなほ園	あさひ荘	短期入所
H25. 4月	3		
5月	6		2
6月	1		
7月	4		2
8月		1	3
9月	3		
10月	3	2	1
11月	4	1	1
12月	3		
H26. 1月			1
2月	3		
3月	1	1	1
合 計	31	5	11

平成25年度新規利用開始実績

いなほ園通所	10件
いなほ園宿泊	6件

平成25年度利用終了実績

いなほ園通所	23件
いなほ園宿泊	13件



**【種 別】**

福祉ホーム

**【定 員】**

10名

**【職員数】**

1名（管理人1名）

**【業務内容】**

1年の利用契約の中で、福祉ホームの管理、生活に必要な便宜を供与、社会復帰及び自立のための相談・助言・指導、出納事務、衛生管理などを行った。

平成25年12月で最後の利用者が退居。その後、利用相談はない。一方いなほ園の利用相談が増加傾向であるため、あさひ荘は平成26年度より休止とした。今後、福祉ホームの利用相談があれば検討していく。

文 責 吉田 春子

## 【概要】

平成17年4月に北区石動（当時は旧豊栄市石動）に開設。交通の便が良くない南浜病院と比較し、駅に近く、より受診・通院のしやすい外来「サテライト」的機能を持たせた。

南浜病院と機能分担し、相互連携により患者の診察・治療をスムーズに行っている。

診療は毎週月曜から金曜の週5日、医師は南浜病院から交替で出張している。職員は看護師1名、事務員1名が勤務している。

	月	火	水	木	金
午前	稲月	川嶋	豊岡	稲月	澁谷
午後	稲月	川嶋	澁谷	稲月	豊岡

※ 稲月医師は当クリニック専従

## 【診療時間】

毎日 9:00 ~ 17:00

## 【取扱実績（月別）】

### 1) 診療実績

	診療日数	延患者数	診療収入
4月	21	658	2,921,610
5月	21	630	2,876,660
6月	20	607	2,759,860
7月	22	699	3,140,310
8月	21	607	2,773,100
9月	19	618	2,667,610
10月	22	658	2,995,190
11月	20	575	2,610,440
12月	19	635	2,808,870
1月	18	550	2,347,690
2月	19	555	2,474,810
3月	20	579	2,628,010
計	242	7,371	33,004,160

1日平均30.5人（年度）

### 2) 紹介患者受入状況

区分	患者数
精神科病院	9
精神科・心療内科クリニック	6
一般病院	21
一般科診療所	24

## 【今後の展望】

法人の基本理念「病院に関わる人、すべての幸せを願う。」の下、その機能を生かし、他の医療機関、福祉施設、及び行政との連携を強化し、引き続き地域医療の促進に貢献して行く。

文責 小出 春彦